

ウインドレギュレータの修理について

2003/12/22(月) hirotaka

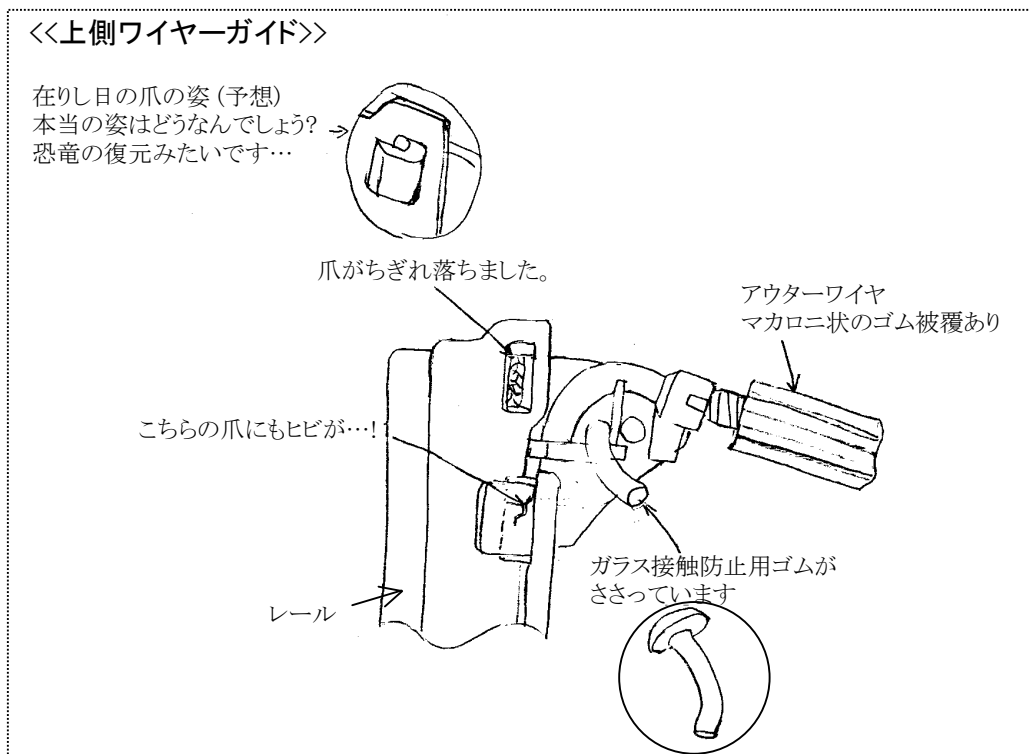
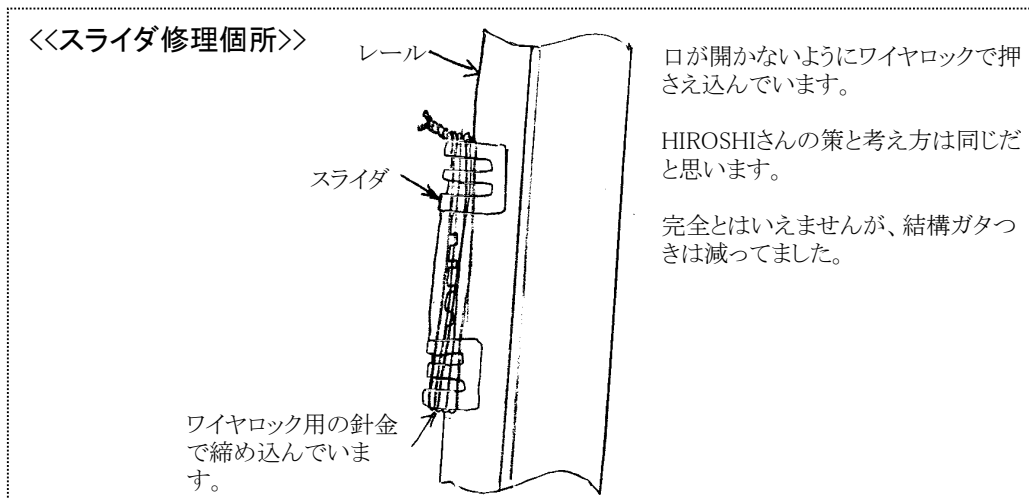
私の1999年式 16V、助手席側の窓を下げる際にウインドレギュレータが昇天しました。

ウインドレギュレータの上側のワイヤーガイドの樹脂製アンカーがらぎれて半分遊んだ状態でガラスと触れて「ギーギョウウ」といやな音が… また、スライダも割れてました。

修理は修理屋さんにお願ひしました。修理屋さん、ありがとうございました。
作業の写真は残念ながら撮っていません…。ので、その修理のあらましを記憶の限り図に表してみました。

注意: なにぶん記憶が頼りなもので、間違っただけを多分に含んでいる可能性があることをご承知おきください。もちろん、本文は修理の完全性を保証するものでも何でもありません(私もこれでどれだけ持ちこたえるかわかりません)。
もっといい方法があったらぜひ教えてください。みなさま、よろしくお願ひします。

感謝: 本資料の作成にあたって、ワッキーさんの自動車実験教室「窓落ち…」の情報およびHIROSHIさんに提供していただいた情報を記憶の補完に利用させていただきました。ありがとうございました。



<<上側ワイヤーガイド 修理箇所>>

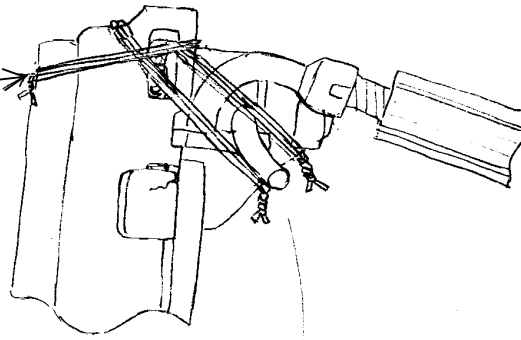
ここにも掛けていたような…
もう一本くらい掛けていたかもしれませんが---

---すいません、記憶の限界です。

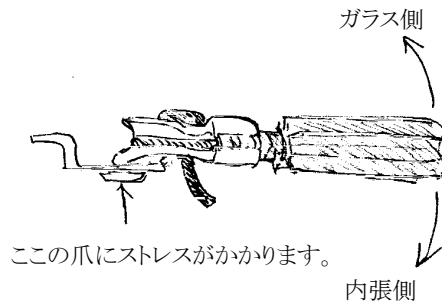
これらのワイヤーロックではかっちり固定できていませんでしたが、一応ガイドが外れない程度にはなっていました。

また壊れるとしたらここからでしょう。

裏側はゴムで針金がガラスに当たるのを防いでいます。



<<アウターワイヤーの暴れ>>

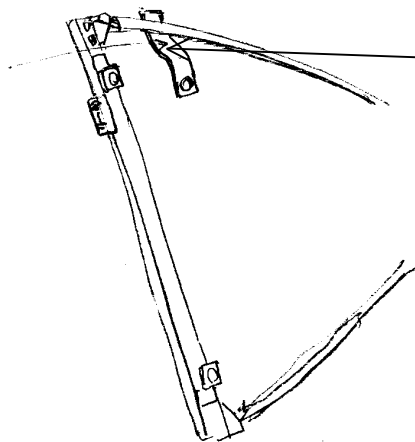


この爪にストレスがかかります。

ガラスを閉め切る際にワイヤーガイド、アウターともガラス側に強力に引き付けられます(新品なら暴れないかもしれません)。

この動きもストレスになりますが、そこから窓を下げるときには全体が内張側にひねられて爪が折れる方向に力が加わってしまいます。

<<アウターワイヤー暴れ防止策>>



鉄板を曲げて取付け、アウターの暴れを押さええます。

鉄板の取付け作業は見逃しましたが、修理屋さんの話から想像する限り、ドアオープナーのアウターワイヤ固定用クリップの取付け穴を利用していると思います。

(おそらくBBSメカニカに書いた鉄板の固定法は勘違いです。すいません。)